



林田祐樹さん (天草町大江・21歳)

今年、専門学校を卒業後、4月から地元の下田南小学校に事務補助員として勤務しています。また、仕事のかたわら地元の中学校では、後輩たちに中学のときから続けているソフトテニスの指導もしています。「教員になる」という夢に向かって、これからもがんばっていきます。

このゆびとつまみ

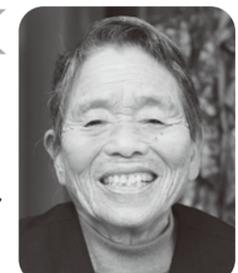


思いやりのあるやさしい子どもに

牛深保育所 (牛深町)

牛深町の中心部にある牛深保育所(高田一子所長・全園児25人)は、「元気で思いやりのある子ども、何事にも意欲的に取り組む子ども」を目標に、家庭的な雰囲気の中で異年齢児との遊びを多く取り入れています。先日はお店屋さんごっこで、年長児は年少児へのいたわりと年長としての自覚と自信を持ち、年少児は年長児を見て学ぼうとする意欲が見られました。また、地域の高齢者を招いていっしょに歌やダンス、手あそびを楽しみ、祖父母といっしょに手をつないで海彩館まで遠足に行きました。おじいちゃん、おばあちゃん笑顔と手のぬくもりを忘れないで、素直なやさしい子どもに育ってほしいと願っています。

宝島の健康
よさげえ



原田ハナ子さん (杵宇土町・88歳)

◆毎日の楽しみは？
畑に行き、草取り作業をすることで。外の空気を吸うことができ、とてもすがすがしい気持ちになります。

また、毎朝テレビで放送しているドラマを見るのも、楽しみのひとつですね。

◆健康の秘けつは？
テレビで覚えた健康体操をかかさずやること。昔は血圧に異常がありましたが、今は健康そのものです。また、全部自分の歯で虫歯はまったくないので、毎日の食事をとてもおいしく食べています。



ミニバスケットボールの練習に励む児童たち

ベストを尽くして！

島子小学校 (有明町)

6年 丸林志奈
私たちの島子小学校は、全校児童70人の小さな学校です。部活動は、男子がソフトボールとサッカーをシーズン制で、女子がミニバスケットボールをがんばっています。

男子は、8月に行われた小体連のソフトボール大会で、準優勝することができました。ミニバスケットボール部は、6年生が4人しかいませんが、4・5年生と力を合わせて、練習に励んでいます。先日行われた県大会予選では、1回戦から厳しい試合でしたがチームワークで勝ち進み、ベスト8になることができました。県大会出場は惜しくも逃しましたが、自分たちのベストを尽くした試合ができたと思います。

少人数でがんばる部活動

城河原小学校 (五和町)

6年 田中亜美花

私たち、城河原小学校の部活動は、女子11人がバスケットボール、男子16人が夏はソフトボール、冬はサッカーをやっています。少ない人数なので女子も男子も3年生から活動をしています。バスケットボール部は、手野小と合同チームですが、小体連は単独チームで出ます。人数が少ないので、一人ひとりの力を合わせてみんなが一丸となって練習をしています。ソフトボール・サッカー部は、天草本渡ライオンズクラブ大会では1回戦で負けてしまいました。でも、小体連では1回戦を突破できるように、今一生懸命にがんばっています。男子も女子も少人数ですが、小体連大会での優勝を目指していきたいです。



これからもみんなでがんばるぞ！

ぼくのわたしの学校部活自慢

地域づくり
コーナ
人が動く
地域が動く
天草が動く

地域資源をいかした
新たな取り組みを目指して

大多尾地区振興会 (会長 濱若光)

「古より伝わる海と山のハートモニー」。このフレーズは、大多尾地区振興会で作成された宝島マップの表紙に記されているものです。

新和町の大多尾地区は、漁村・農村集落で形成されており、豊漁のおすそ分けに對してお米や野菜、漬け物などをお返しするという風習が、今もなお残る地区です。当地区振興会では、これまでスポーツ大会や祭り、高齢者と子どもとの交流など、地域力の低下を招かないような活動を行ってきました。しかし、今年3月には地域のよりどころであった小学校が閉校し、少子高齢化の波が押し寄せる中、主産業である漁・農業ともに後継者不足に悩まされています。このことから、今後は生

「竹」に着目し、専門家の講義を受け、地域が元気になる事業を研究しています。地域資源と人財との新たなハートモニーを醸成して、これからも活動を続けていきます。



▲「竹」を研究する講演会のようす